
我孫子野鳥を守る会創立 40 周年を記念して

会員手づくりの「記念誌」2冊発刊 / 魅力的な「講演会・写真展」も開催

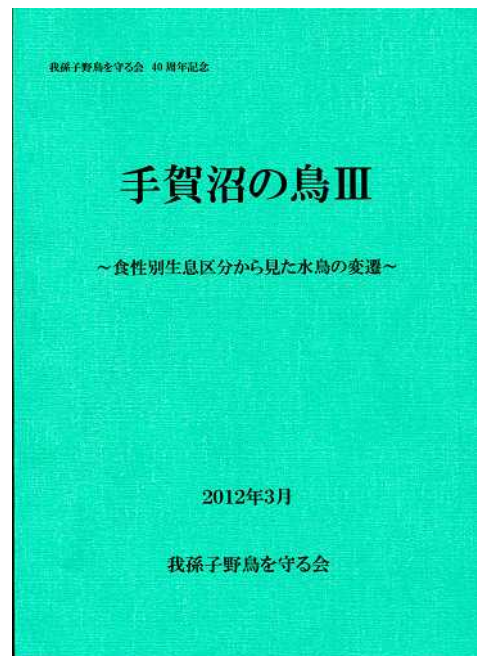
我孫子野鳥を守る会（会長 間野吉幸）は創立 40 周年を記念して、下記の 4 つの事業を 3 月に実施致します。

- 1) 記念誌『手賀沼の鳥 ～食性別生息区分から見た水鳥の変遷～』を発刊

40 年に亘る会員による調査データからの手賀沼の鳥レポート

手賀沼周辺の大規模な環境変化、特に採食場所と食物の変化が水鳥にどのような影響を与えているかを明らかにしています。

（3 月 1 日発刊 頒布価格@2,000 円
取扱：我孫子市鳥の博物館他）



- 2) 記念誌『四季の手賀沼周辺散歩～野鳥と草木と風景と～』を発刊

構想から発刊まで 2 年に亘る会員の調査、執筆による手賀沼周辺の散歩のガイドブック

（3 月 1 日発刊 頒布価格@500 円 取扱：
我孫子市鳥の博物館、一部書店他）



3) 記念写真展『会員の写真で綴る 40年～手賀沼周辺に現れた珍しい鳥・身近になった野鳥及び会の活動』を開催

野鳥の写真等を見て、手賀沼周辺の自然の奥深さに触れる写真展

日時：3月13日(火)～18日(日)

9:30～16:30

(初日13日は13:00から開場)

場所：けやきプラザ2階第2ギャラリー

【入場無料】

我孫子野鳥を守る会40周年記念/会員の写真で綴る40年

—手賀沼周辺に現れた珍しい鳥・

身近になった野鳥及び会の活動—

我孫子野鳥を守る会は1972年に発足し今年の3月で40周年を迎えます。記念事業の一つとして写真展を開催します。野鳥の写真等をご覧になり手賀沼周辺の自然の奥深さに触れて頂ければ幸いです。

日時 平成24年3月13日(火)～18日(日) 9:30～16:30

初日13日は13:00から開場
場所 けやきプラザ2階第2ギャラリー
(我孫子駅南口徒歩5分)

入場は無料です



(コウノトリ)



(オオワシ)

内容

- * 40年の間に手賀沼周辺に現れた珍しい鳥・身近になった野鳥約50種の写真展示
- * 会の活動の写真約120点
- * 「手賀沼ビオトープの鳥たち」～1999年6月から13年間の鳥類調査より～
- * はーぼーどり第1号、20周年・30周年・40周年記念誌「手賀沼の鳥」等の出版物、他

主催 我孫子野鳥を守る会
(問合せ先 04-7182-3972 梁谷)
後援 我孫子市教育委員会
<http://abikoyacho.org/>

4) 記念講演会『アホウドリ 絶滅の危機から回復へ～衛星追跡で判った行動圏～』を開催

北半球最大の美しい海鳥、アホウドリ。その生態とともに、絶滅の危機から復活へ向けてのドラマを、尾崎清明氏が熱く語ります。

日時：3月18日(日)13:30～15:00

【受付13:00～先着150名】

講師：尾崎 清明氏 (財)山階鳥類研究所
副所長・保全研究室室長

場所：手賀沼親水広場 水の館 3階研修室

【入場無料】

我孫子野鳥を守る会40周年

記念講演会

「アホウドリ 絶滅の危機から回復へ」

—衛星追跡で判った行動圏—



【日時】平成24年3月18日(日)
13:30～15:00 (受付:13:00～)
【講師】尾崎 清明氏
(財)山階鳥類研究所副所長・保全研究室室長
【会場】手賀沼親水広場 水の館 3F 研修室

【定員】先着150名(入場無料)

北半球最大の美しい海鳥、アホウドリ。かつて、数十万羽がいたと考えられていますが、羽毛採取のため乱獲されたのが原因で一時は絶滅したと見られました。再発見から約60年に及ぶ多くの方々の地道な保護活動により10数羽から2,700羽を超えるまで回復しました。しかしながら、現在の繁殖地鳥島は噴火のおそれがあり、かつて繁殖していた小笠原諸島の鷺島への再導入作戦が始められました。それから4年、その若鳥たちは道か北方5,000kmのペーリング海、アリューシャン列島周辺の海上から、巣立った故郷鷺島へ帰ってきています。今後の鷺島での繁殖が大いに期待されます。その生態とともに、絶滅の危機から復活へ向けてのドラマを、尾崎清明氏が熱く語ります。



講師プロフィール
1951(昭和26)年生れ、滋賀県近江八幡市出身
(財)山階鳥類研究所副所長・保全研究室室長
アホウドリ保全プロジェクトリーダー
研究経歴
日・中トキ保護事業に協力
ヤンバルクイナの発見、標識調査や衛星追跡による渡り研究に従事
東京大学理学部生物学科卒業 理学博士

主催：我孫子野鳥を守る会
後援：我孫子市教育委員会
問い合わせ：我孫子野鳥を守る会事務局
梁谷 Tel 04-7182-3972